

フォレストニュース

植林が地球を救う

令和4年(2022)3月10日

No. 171

発行 高津啓洋

レダの自然樹木で美味しいチミツ

レダで飼われている養蜂用のミツバチは、性格が比較的凶暴と言われるアフリカ種との掛け合わされたミツバチです。

大自然の中での蜜集めですが、当然無農薬で、アスンシオンでもパンタナール産のハチミツは大好評です。

また、ジャテイと言われる、小さなミツバチもいます。このミツバチはおしりに



レダのミツバチは少し凶暴です



ほっぺが落ちるほどの味わいハチミツ

針を持たないミツバチで。蜜の味がさらさらとしていて、目に良いといわれ大変に高く取引されています。ジャテイはアルガロボの木等のうろの中などに巣が作られています。

ジャテイの巣の入口は小さくインディヘナの人たちは、森に入って小さなハチを探し、その穴を見つけてハチミツを取ります。

春季セミナー5月28日



講師を担当する高津代表

セミナー、一回だけとなりました。今年は新型コロナの終息を願いながら、

日時：5月28日(土)
1部 10:00受付、10:15開始。
2部 12:30受付、12:45開始、
16:00終了。

国立オリンピック記念青少年総合センター：センター棟402室での開催を予定し

年間3回を予定していたセミナーも新型コロナのために延期に次ぐ延期となり、去年は11月20日のセ

ています。参加希望の方はメール等にてご連絡ください。

伊達さんの一日も早い快復を願います



伊達さんは灼熱の中も植樹を続けます

日本人の現地移住者、パラグアイ事務局・伊達勝見事務局長が、新型コロナに罹り、人工呼吸器をつけながらの厳しい闘病生活を続けています。

急遽、茨城県にいらっしゃる伊達かほる夫人と息子さんが、アスンシオンの病院に駆けつけました。人工呼吸器をつけているために話すことはできないそうですが、意思疎通はできるそうです。長期にわたる入院でもあり、一日も早い回復と退院を祈ります。